

第1回災害ケースマネジメント研修 in 和歌山 実施要項

1. 研修テーマ:災害ケースマネジメントを学び、災害支援団体の活動を知る。

大規模な地震災害、豪雨災害などに見舞われた際、現行の災害対応法制下では、主に住家被害に応じた罹災証明書を前提とした支援策が講じられている。しかしながら、被災者一人ひとりが抱える課題や直面する状況は、住家被害のみならず、平時の生活課題の災害による顕在化も含め、複雑かつ多様であり、こうした課題が複合化する場合も多い。このため、従来型の申請主義に基づく支援の考え方では、支援の網から漏れ、あるいは支援の狭間に陥った被災者を取り残し、結果として個々の生活再建、ひいては地域全体の復興に支障を来すおそれがある。

今回の研修は、それらを解決する手法の一つである災害ケースマネジメントについて、弁護士の津久井進氏をお招きし概論を学ぶとともに、実際に現地で災害ケースマネジメントの手法に基づいた支援を実践するNPO法人YNFの代表理事江崎太郎氏と、災害中間支援組織に参画する一般社団法人さいわいの代表理事井若和久氏に話題提供いただきながら、災害に備え平時に必要とされる取り組みをともに考える機会とする。

2. 内容・講師等

第1部 基調講演:「災害ケースマネジメントとは何か」

講師:日本弁護士連合会災害復興支援委員会元委員長・弁護士 津久井進氏

第2部 パネルディスカッション

パネラー 話題①「(仮題)徳島県での災害ケースマネジメントの取り組み」

一般社団法人さいわい 代表理事 井若和久氏

話題②「(仮題)災害支援団体としての能登半島地震における珠洲市での活動」

NPO法人YNF 代表理事 江崎太郎氏

コーディネーター NPO法人ワンファミリー仙台 理事長 立岡学氏

コメントーター 津久井進氏

3. 主催

主催:和歌山県、NPO法人ワンファミリー仙台、NPO法人YNF

協力:一人ひとりが大事にされる災害復興法をつくる会、NPO法人ジャパンプラットフォーム

4. 本研修の主な対象者

和歌山県内の自治体職員、社会福祉協議会職員、社会福祉法人職員、NPO団体関係者、災害ケースマネジメントに関心のある方など

5. 開催日時・参加費

令和8年1月15日(木) 13時30分~16時50分 参加費無料(13時00分開場)

6. 開催会場・定員

和歌山城ホール4階大会議室(和歌山県和歌山市七番丁25番地の1) 定員:100名程度

7. 申し込み締切日

令和8年1月8日(木) 詳細は「10. 申し込み用紙」をご覧ください。(定員に達した時、お断りする場合がございます。)

8. 個人情報取り扱い

参加に関する個人情報は適切に取り扱い、ご本人の同意なく第三者へ提供または開示いたしません。当法人に関するセミナーや催し等に関する情報提供等に活用させていただく場合がございます。

9. 研修プログラム

時間(予定)	プログラム
13:30	事務連絡(事務局) 開会あいさつ(主催:NPO法人ワンファミリー仙台)
13:45 15:00 (75分)	第1部 基調講演 「災害ケースマネジメントとは何か」 講師:日本弁護士連合会災害復興支援委員会元委員長 津久井進氏 講師プロフィール:弁護士。1969年生。兵庫県弁護士会元会長、近畿災害対策まちづくり支援機構事務局次長、一人ひとりが大事にされる災害復興法をつくる会共同代表、兵庫県震災復興研究センター代表、関西学院大学災害復興制度研究所研究員、公益財団法人こども財団理事長ほか。著書に『大災害と法』(岩波新書)、『Q&A 被災者生活再建支援法』(商事法務)、『災害ケースマネジメント◎ガイドブック』(合同出版)、共著に『災害救助法』徹底活用』(クリエイツかもがわ)、『災害対応ハンドブック』(法律文化社)ほか多数。
15:00 16:30 (90分)	第2部 パネルディスカッション パネラー: 話題① 「(仮題)徳島県での災害ケースマネジメントの取り組み」 一般社団法人さいわい 代表理事 井若和久氏 プロフィール:2020年に、徳島県において、各種専門家が連携して、平時から災害時の連続的なケースマネジメント及びまちづくりを推進するための一般社団法人さいわいを設立、代表理事を務める。令和3年度から本研修事業で徳島県への災害ケースマネジメントのノウハウ移転を進める中、徳島県とも連携して令和5年度以降災害ケースマネジメント人材育成事業を実施し、令和6年7月には徳島県内初の災害中間支援組織となる徳島被災者支援プラットフォームに参画、副理事長に就任。徳島大学人と地域共創センター学術研究員。博士(工学)。 話題② 「(仮題)災害支援団体としての能登半島地震における珠洲市での活動」 NPO 法人 YNF 代表理事 江崎太郎氏 プロフィール:1979年生 福岡市出身 早稲田大学法学部卒業。東日本大震災より災害ボランティアに関わる。2017年にYNFを設立し、一人ひとりに合わせたオーダーメイド型支援である「災害ケースマネジメント」を平成29年九州北部豪雨・西日本豪雨・令和2年7月豪雨等で実践、啓発活動も行った。また令和6年能登半島地震においては1月2日に現地入りし、被災している珠洲市職員をサポートする「ミツバチ隊」を組織し、隊長に就任。また2月1日より、石川県が被災者ひとりひとりを把握するため、被災高齢者等把握事業を実施。現在珠洲市の被災者見守り・相談支援事業を受託し、災害ケースマネジメントの手法を用いた支援を実践している。

	<p>コーディネーター：NPO 法人ワンファミリー仙台 理事長 立岡学氏</p> <p>プロフィール：2002年、ホームレス支援をおこなう任意団体「ワンファミリー仙台」を設立。2006年7月、NPO法人化し理事長に就任。2008年より2018年まで反貧困みやぎネットワーク副代表を務めた。2011年、一般社団法人パーソナルサポートセンター(PSC)を設立し、当初は東日本大震災の被災者支援に携わる。その後、PSCでは生活困窮者自立支援制度に創設期から関わってきた。現在、PSCの業務執行常務理事を務める。2017年には合同会社PSCプラスを設立し、住まいに困っている人のための不動産事業を展開。</p> <p>コメンテーター：津久井進氏</p>
16:30	OJT 研修のご案内(予定) (NPO 法人 YNF 代表理事 江崎太郎氏)
16:45	閉会あいさつ(一人ひとりが大事にされる災害復興法をつくる会)



一人ひとりが大事にされる災害復興法をつくる会

10. 申し込み用紙・お問い合わせ先

申し込み方法は下記の4通りあります。いずれかの方法でお申込みください。

■下記の Google フォームに必要事項を入力して送信する。

<https://forms.gle/KqujeBtrP4G532Ab6>



スマートフォンの方はこちら →

■下記の必要事項をメール本文に書き、メール件名を「1/15 災害ケースマネジメント研修 in 和歌山参加申し込み」として事務局 **kenshu@onefamily-sendai.jp** へ送る。

■申込用紙に必要事項を記入したのち、PDF にしてメールに添付し、「1/15 災害ケースマネジメント研修 in 和歌山参加申し込み」として 事務局 **kenshu@onefamily-sendai.jp** へ送る。

■申込用紙に必要事項を記入したのち、FAX で事務局 **022-398-9856** へ送る。

研修 事務局(担当:梶谷・茅野) NPO法人ワンファミリー仙台 総務課内
問合せ電話:022-398-9854(音声案内に沿って 3 番)

1/15 災害ケースマネジメント研修 in 和歌山参加申し込み 参加申し込み (1 人 1 枚ご記入ください)	
参加者氏名	
メールアドレス	
当日連絡が取れる 電話番号	
所属組織(行政・社協 NPO 等)名	
従事状況 ※いずれかにチェック	これまでに、防災対策の業務や活動(ボランティア等含む)に <input type="checkbox"/> 関わったことがある <input type="checkbox"/> 関わったことはない <input type="checkbox"/> その他()
ご質問等 事前にご質問等がありました らお書きください。	